広告目次

住友金属鉱山㈱	表２
㈱メイト	表３
電子磁気工業㈱	表４
㈱マグエックス	5
DOWA エレクトロニクス㈱ DOWA エフテック㈱	5
日本電磁測器㈱	6
東英工業㈱	7

編集後記

2007 年 12 月 6 日開催予定の世界 BM 動向討論会と 2007 年 12 月 7 日開催予定の 2007 年 BM 国際シンポジウムの開催準備は理事会役員、企画委員会、技術委員会の皆様のご尽力により順調に進捗しています。

お陰さまで立派なプログラムが出来上がり、皆様のご協力により国内及び海外への PR を 10 月初頭から開始致しました。

今回は国際シンポジウムの名にふさわしく主題「ボンド磁石の最新技術動向と資源問題」関連の日本 4 件、中国 4 件、ロシア 1 件　計 9 件の講演をしていただくことになりました。

特に磁石関連では日本では初めてではないかと思われるロシアの講演は、急速に発展するロシアの磁石産業動向と、希土類資源が中国に遍在する状況の中で、ロシアの希土類資源はどうなっているのか、我々の最大関心事にも言及していただきます。

ところで海外の講師をお招きするにあたり最大の難関は中国人やロシア人の日本入国 VISA 取得です。

この難関作業を昨年に引き続いて今年も㈱マグエックスの阿部社長様の御支援と社員の皆様のご協力により無事乗り越えることができました。

現地の日本大使館あるいは日本領事館に提出する VISA 取得に必要な資料である招聘理由書、身元保証書、査証申請人名簿、日本滞在予定表の作成は身元保証の責任はもとより中国、ロシアとの頻繁な連絡が必要であり、さらに提出期限への遅延は許されないことから㈱マグエックスのご担当者の心労は如何ばかりであったかと拝察申し上げます。

㈱マグエックス様のご尽力に心より厚く感謝申し上げます。

機関紙編集委員長
多田　健雄